

喜多方市市民活動 支援センター通信

発行：2023年6月
発行者：喜多方市市民活動
支援センター

Vol.46(2023年度 第1号)

市民活動団体紹介



喜多方ホタル夢づくり会

【会長：星陽子さん】

（Q.どんな活動をしていますか？）

市内のあちこちにホタルが飛ぶことを夢見て、平成12年から活動を始めました。ホタルの幼虫やエサになるカワニナを飼育して放流し、ホタルが住む環境を整備するための活動などを行っています。

活動を始めて程なく、ホタルのことをもっと知りたい、一緒に活動を広めてくれる方々の勉強の場として、大人を対象にした「ホタルの大学」を始めました。その後、子どもたちにもホタルや他の昆虫などにも親しんでもらいたいと考え、ホタルの大学で学んだ方々も指導者となり、子どもとその家族を対象にした「ホタルの学校」をスタートさせました。

近年では、応名川以外の地域にもホタルの幼虫を放流し、無事にホタルが飛ぶ姿を見ることができました。また、同様の活動を始めたいという方々への協力などもしています。



今年もホタルの幼虫とカワニナを応名川へ放流しました！

（Q.ホタルの学校について教えてください）

2023年度は18期生となる44名が入学しました。実際にホタルや昆虫を手にとって観察し、自然の営みや命の大切さを学びます。家族での参加がほとんどで、子どもたちはもちろん、大人もとても楽しんでいて、毎年参加してくれるご家族もいます。11月の終了式までに水辺の生物調査やアサギマダラ飛翔調査など、いろいろな講座が予定



されています。また、6/22～25は市内応名川でホタル観賞会を実施します。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

←2023年度
ホタルの学校入学式

（Q.活動への思いを教えてください）

喜多方市の昆虫がホタルということをご存知ですか？豊かな自然ときれいな水がある場所がホタルの住みやすい環境です。市内にホタルが住みやすい環境を整え、歩いて行ける場所でホタルの乱舞を見た

いとの思いで活動を続けていますが、同じ思いを持った会員のみなさんも少しずつ高齢化してきています。若い世代の方にもこの活動に興味を持ってもらいたいと思っています。ぜひ一緒に活動しませんか！

【お問い合わせ】

幹事長：鶴巻 智信さん
☎ 0241-23-1549

現場からレポート ♪ 団体の活動の様子をお伝えします ♪

NPO 法人日中線しだれ桜プロジェクト 「未来へつなぐ 第8回日中線しだれ桜延長ウォーク」開催

快晴に恵まれた4/23(日)8:30、日中線記念館に集合した67名の参加者は、バスでそれぞれ村松駅跡と上三宮駅跡の2か所のスタート地点に向かい、8.7kmと6.6km先のゴールを目指し、日中線跡地を歩きました。植樹したしだれ桜とそのオーナーのメッセージ板を見ながら、雪をかぶった飯豊山をのぞむのどかな春の田園風景を楽しみました。参加者は、喜多方市内はもちろん、郡山市や福島市、いわき市、南相馬市など、遠方より参加された方がとても多く、雪景色を見慣れない地域からの参加者は、真っ白な飯豊山としだれ桜の色合わせに驚いていたようでした。ゴールの日中線記念館では、デュオの「とちおとめ」のコンサートを聴きながら昼食と休憩をとり、無事にイベントは終了となりました。

この延長ウォークは、熱塩駅よみがえらせ隊との共催で実施し、ボランティアを含む28名のスタッフが開催を支えてくれました。昨年までは秋に開催していましたが、植樹したしだれ桜並木の花見を兼ねたウォークにしようと、今年から春に変更しました。法人ではこれまでに200本以上のしだれ桜を植樹しています。2016年からはオーナー制を始め、来年春には第5次オーナーの植樹も予定されています。NPO法人のため規模拡大はハードルが高いこともありますが、今後も「喜多方に世界一のしだれ桜散歩道を作りたい！」を合言葉に活動をしていきます！



